



自衛隊栃木地方協力本部

ろまんちっく村「はたらくくるま大集合」広報展 ～全日本自転車競技選手権大会シクロクロス in 宇都宮～



人気の3 1/2 tトラック



ミヤリーと1/2 tトラック

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 古川3陸佐）は、12月15日（日）道の駅「ろまんちっく村」において、はたらくくるま広報展を実施した。このイベントは公益財団法人日本自転車競技連盟主催の全日本自転車競技選手権大会シクロクロスの開催に伴い行われ、消防、警察、自衛隊の車両が展示された。

当日は冬の晴天に恵まれ、国内最高峰の選手が日本ナンバーワンを懸けて、しごきを削るハイレベルなレースを一目観ようと大勢の人で賑わった。

自衛隊ブースでは東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）の支援を受け、3 1/2 tトラックの展示、携行食展示、制服試着、タペストリー展示を行い、親子連れが制服試着を楽しんだり、トラックに乗り込み眺めを体験したり、カメラで熱心に装備品を撮影している人も見られた。来場者からは「いつも日本を守ってもらいありがとうございます！」「訓練の時はこの大型トラックに乗って移動しているんですね」「駐屯地の行事にはいつも楽しく参加しています」といった話を聞くことができ、自衛隊への関心の高さが感じられた広報展であった。

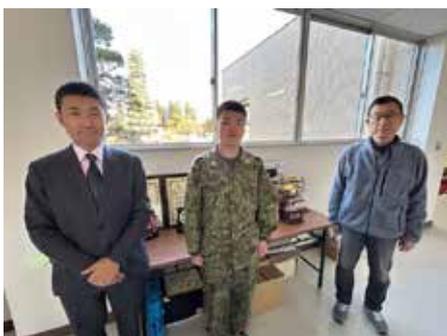
宇都宮募集案内所は、「今後も、自治体や部隊と協力しながら、国を守る、人を守るというやりがい、自衛隊の魅力を積極的に発信し、所員一丸となり募集広報活動に邁進していく」としている。

現職隊員の母校訪問及び近況報告 ～頼れる先輩～

栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、12月26日（木）、担当広報官（松尾3曹）が陸上自衛隊朝霞駐屯地所在の第102輸送業務隊の木村士長（令和5年入隊）とともに、母校である栃木県立黒羽高校を訪問した。

学校が冬休みに入るなか、担任の先生をはじめ多くの先生に対応頂いた。進路指導教諭の船田先生は、成長した木村君の姿に「頼もしい！」と感激していた。また、在学中に所属していた黒羽高校相撲部を訪問し、自身の後輩や監督へ日々の体験を語り、自衛隊への理解を深めた。この際、自衛隊への興味を持つている学生の紹介があり、将来の幹部候補生に関心を寄せる人材と交流を図れた。

大田原地域事務所は、「現隊員が母校を訪問することで、自衛隊員への親近感が高まり、後に続く後輩が現れるのが楽しみである。今後、入隊者に対する関係作りとともに、地域の理解を広げていきたい」としている。



お世話になった先生方



経験談を相撲部の後輩へ話す木村士長



記念の写真となりました！